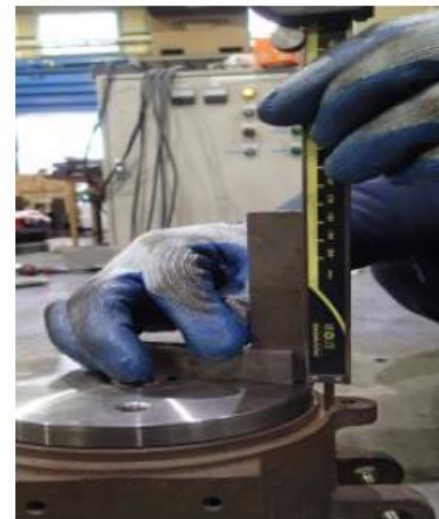
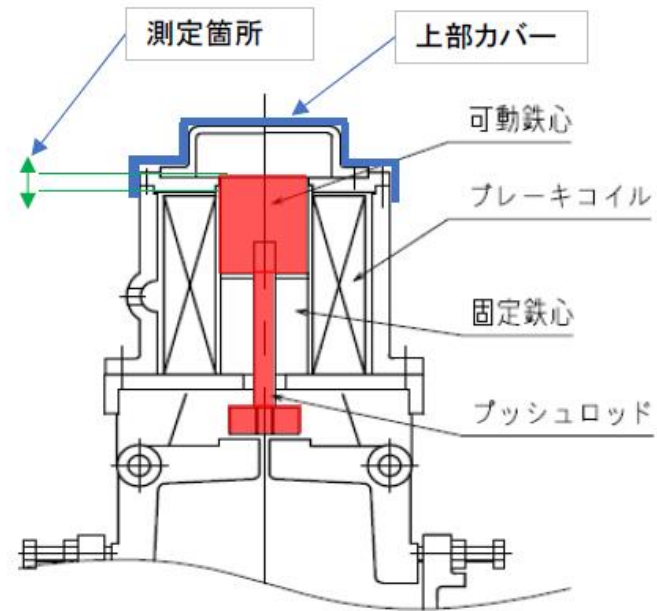


## プランジャストローク測定要領

### ブレーキコイルが上向きに付いていて、可動鉄心が1つの場合

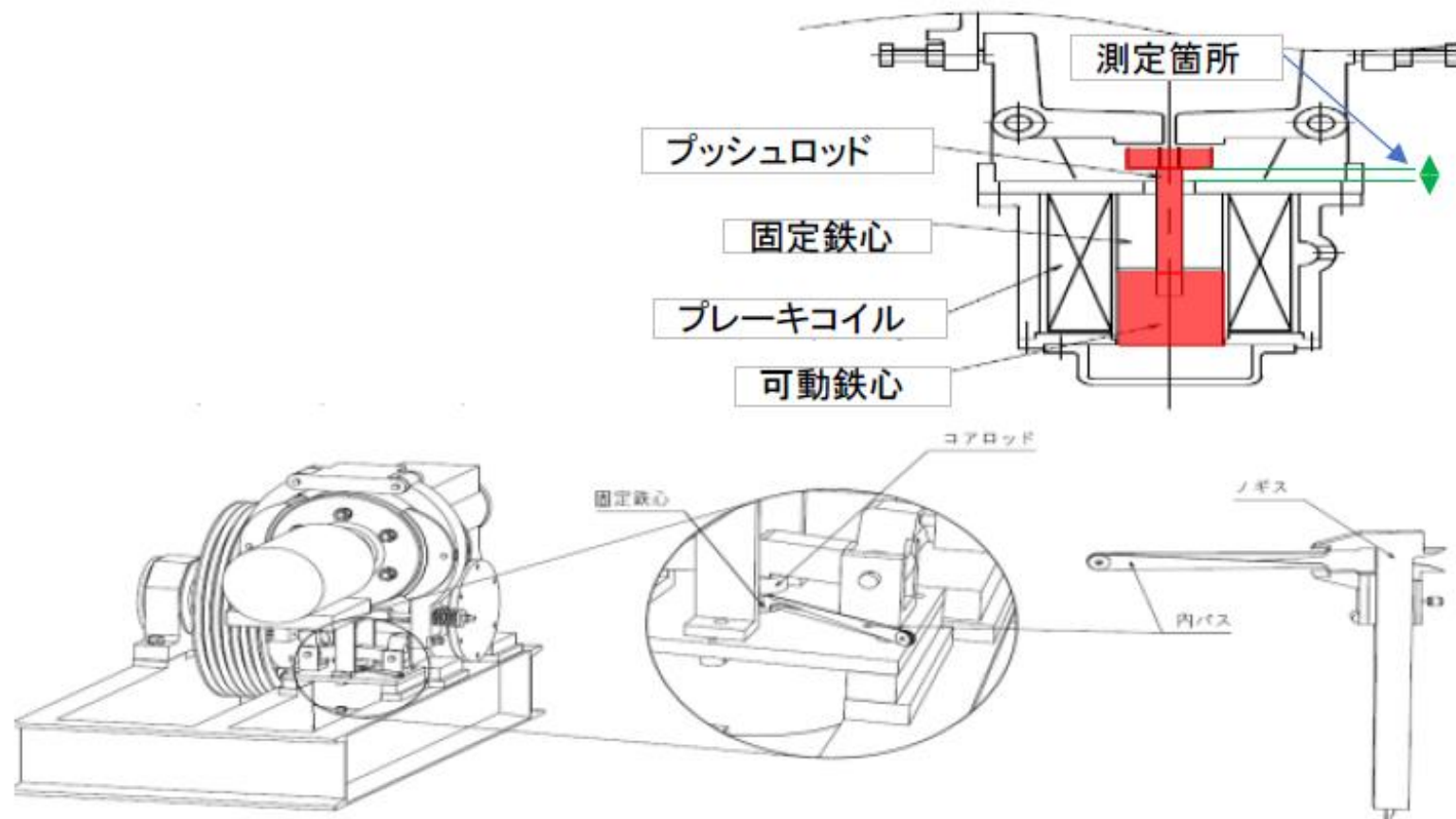
- ・ブレーキコイルが上向きに付いていて可動鉄心が一つの場合  
上部カバーを外し、中の可動鉄心をノギスにて測定する。  
コイルを励磁させた場合と、  
させていない場合の測定値の差がプランジャストローク値となる。



## プランジャストローク測定要領

### ブレーキコイルが下向きに付いていて、可動鉄心が1つの場合

・ブレーキコイルが下向きに付いていて可動鉄心が一つの場合  
プッシュロッドと固定鉄心間を内パス転写をし、それをノギスで測定する。  
コイルを励磁させた場合と、  
させていない場合の測定値の差がプランジャストローク値となる。



## プランジャーストローク測定要領

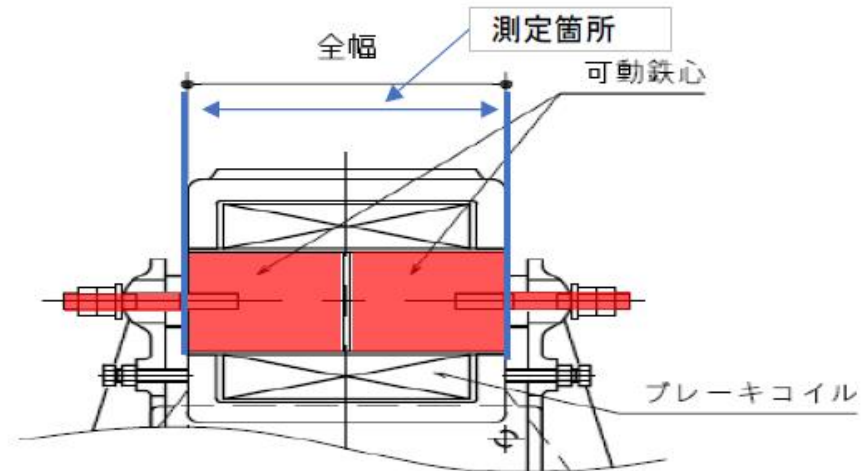
### 可動鉄心が2つの場合

- ・可動鉄心が二つの場合

二つの可動鉄両端をまとめてノギスで挟み測定をする。

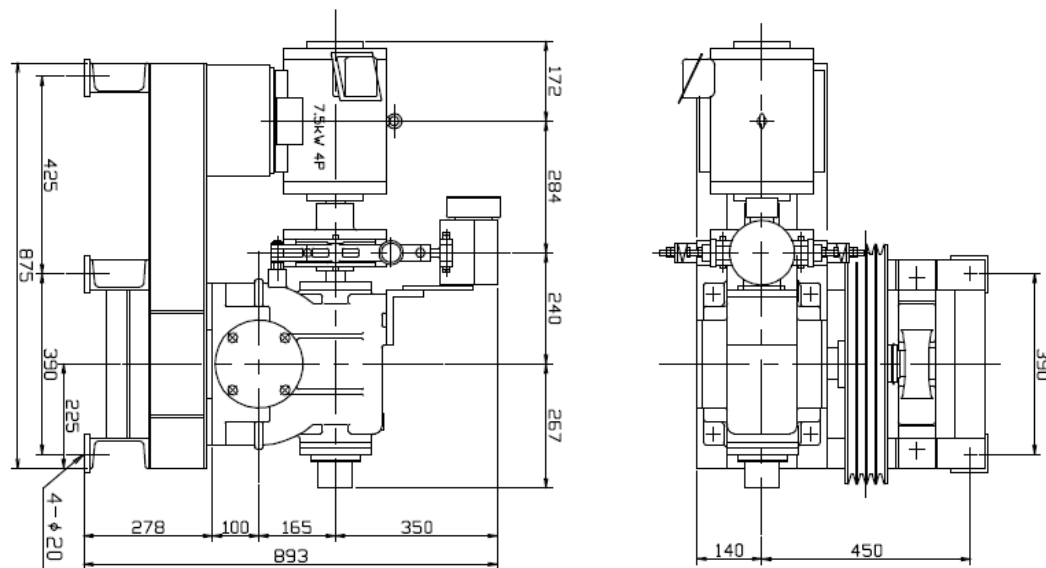
コイルを励磁させた場合と、

させていない場合の測定値の差がプランジャーストローク値となる。



# 3500型

## 外形図

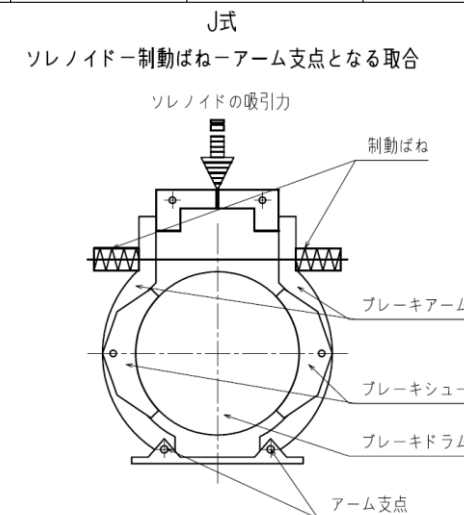
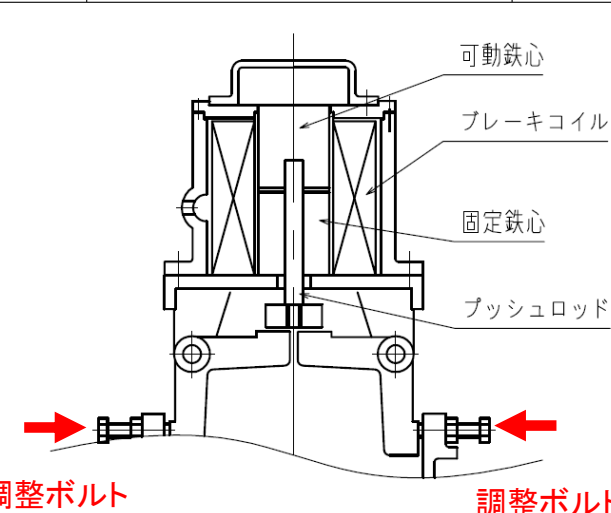


## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称 | 特徴                 | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------|--------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| 3500      | ギアケース刻印<br>「3500」  | 下側                          | -          | 0                  | 50×110×110          | 上側                             |
| 3500W     | ギアケース刻印<br>「3500W」 | 上側                          | 足つき        | K型                 | 60×110×61           | 上側                             |
| 3500F     |                    |                             | フランジ       |                    |                     |                                |

## プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称 | ブレーキ形状                                    | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------|-------------------------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|           |                                           |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| 3500      | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね<br>カップリング径φ200 | J式        | 0.5                                  | 0.8       | 1.0 |
|           | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね<br>カップリング径φ220 | J式        |                                      |           |     |
| 3500W     | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね                | J式        | 0.5                                  | 2.0       | 2.5 |
| 3500F     |                                           | J式        |                                      |           |     |



# 3500型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度ヒューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度ヒューズ(A)



温度ヒューズ(B)



ブレーキシュー

ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。



ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度ヒューズ(A)

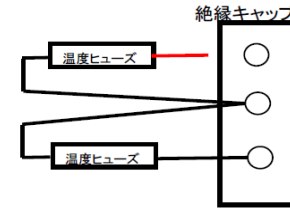


温度ヒューズ(B)



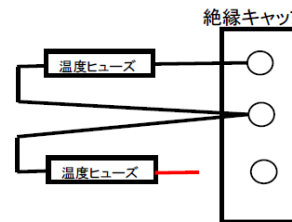
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度ヒューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

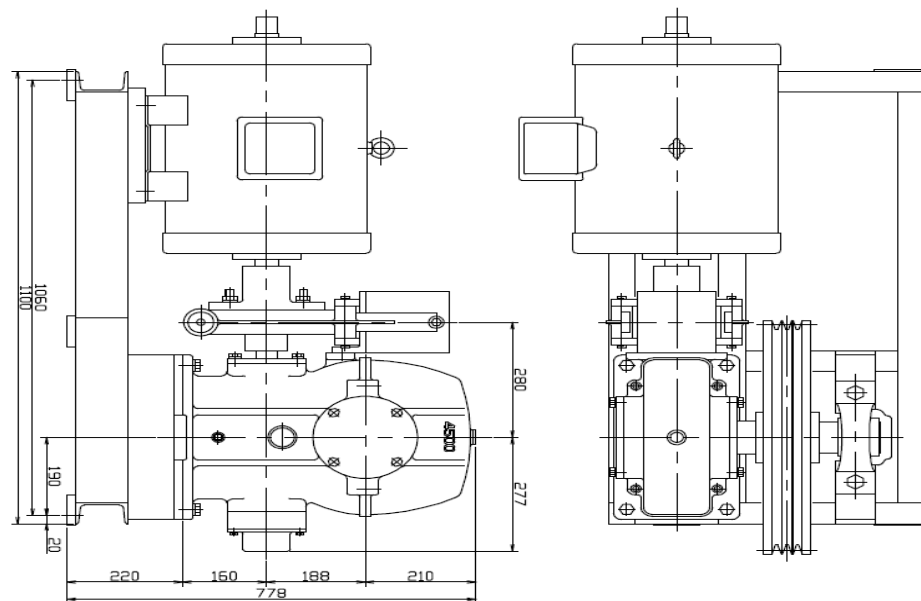
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# 4500型

外形図

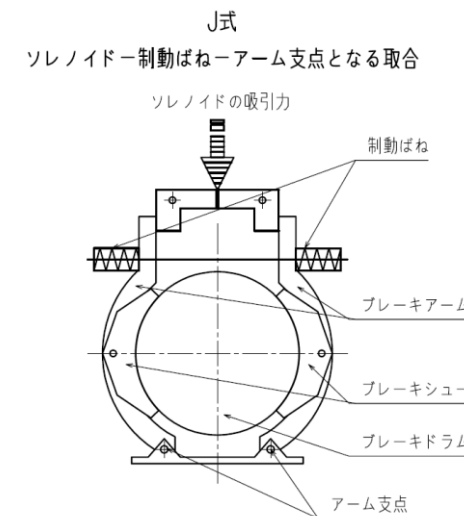
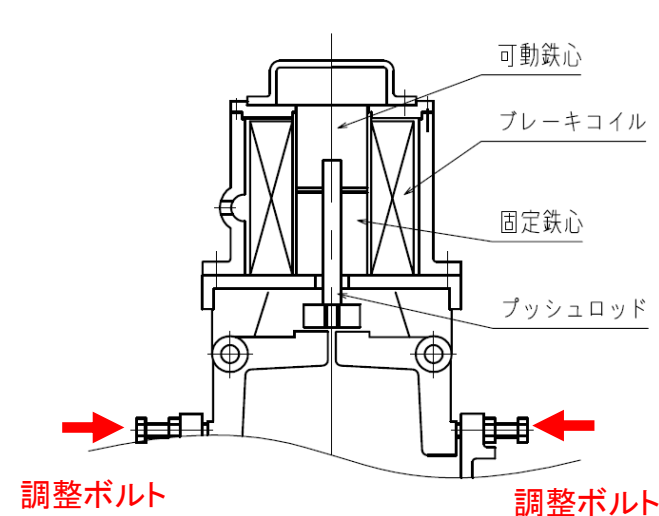


補足識別情報

| 巻上機<br>名称 | 特徴                 | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------|--------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| 4500      | ギアケース刻印<br>「4500」  | 下側                          | -          | 0                  | 50×110×150          | 上側                             |
| 4500W     | ギアケース刻印<br>「4500W」 | 上側                          | 足つき        | K型                 | 60×110×61           | 上側                             |
| 4500F     |                    |                             | フランジ       |                    |                     |                                |

プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称 | ブレーキ形状                                     | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------|--------------------------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|           |                                            |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| 4500      | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね<br>カップリング径φ 200 | J式        | 0.5                                  | 1.4       | 1.5 |
|           | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね<br>カップリング径φ 220 | J式        |                                      |           |     |
| 4500W     | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね                 | J式        | 0.5                                  | 1.2       | 1.5 |
| 4500F     |                                            | J式        |                                      |           |     |



# 4500型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度フューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度フューズ(A)



温度フューズ(B)



ブレーキシュー

ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。



ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度フューズ(A)

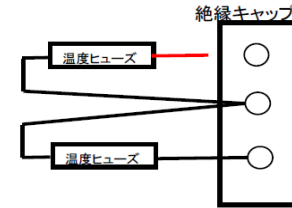


温度フューズ(B)



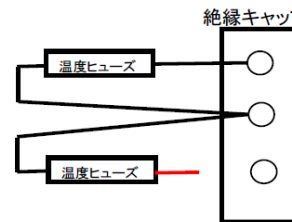
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度フューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

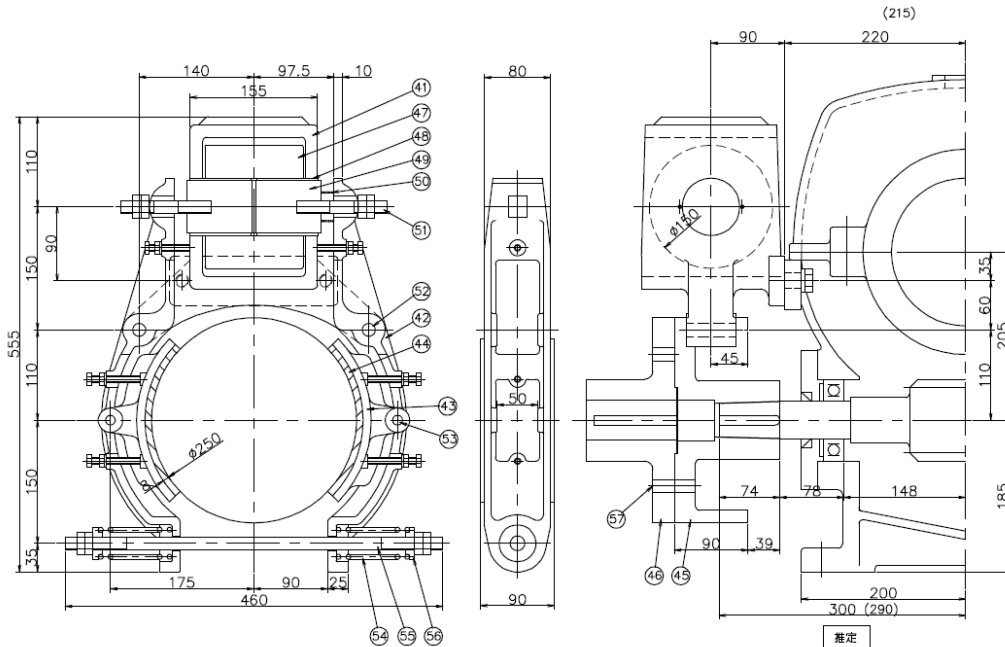
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# 6500型

## 外形図

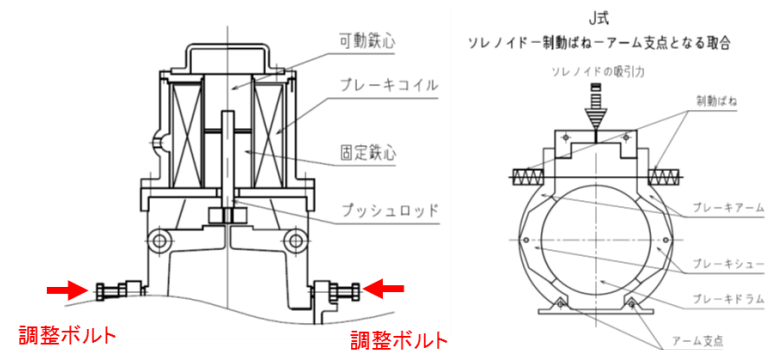
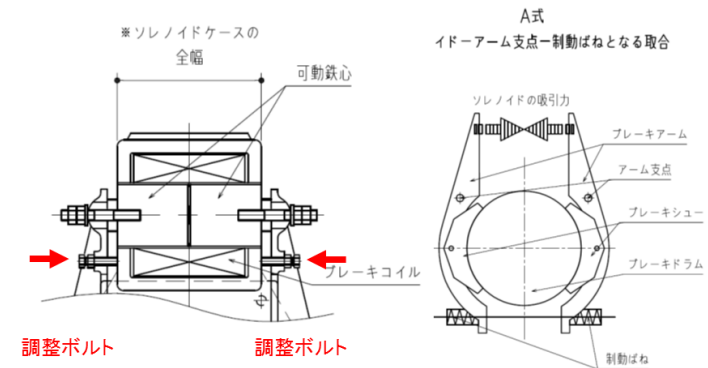


## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称       | 特徴                 | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------------|--------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| 6500            | ギアケース刻印<br>「6500」  | 下側                          | -          | 0                  | 75×150×120          | 上側                             |
| 6500            |                    |                             |            |                    |                     |                                |
| 6500W/<br>6500A | ギアケース刻印<br>「6500W」 | 上側                          | 足つき        | K型                 | 60×110×61           | 上側                             |
| 6500RS          |                    |                             | フランジ       |                    |                     | 下側                             |

## プランジヤーストローク測定

| 巻上機<br>名称       | ブレーキ形状                     | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------------|----------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|                 |                            |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| 6500            | ヒンジ構造シュー1コイル<br>2可動鉄心2制動ばね | A式        | 0.4                                  | 0.9       | 1.0 |
| 6500            | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね | J式        | 0.7                                  | 1.3       | 1.5 |
| 6500W/<br>6500A | ヒンジ構造シュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね | J式        | 0.7                                  | 1.3       | 1.5 |
| 6500RS          |                            | J式        |                                      |           |     |



# 6500型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度ヒューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度ヒューズ(A)



温度ヒューズ(B)



ブレーキシュー  
ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。

ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度ヒューズ(A)

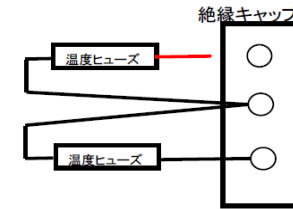


温度ヒューズ(B)



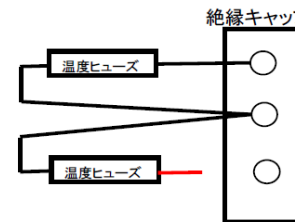
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度ヒューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

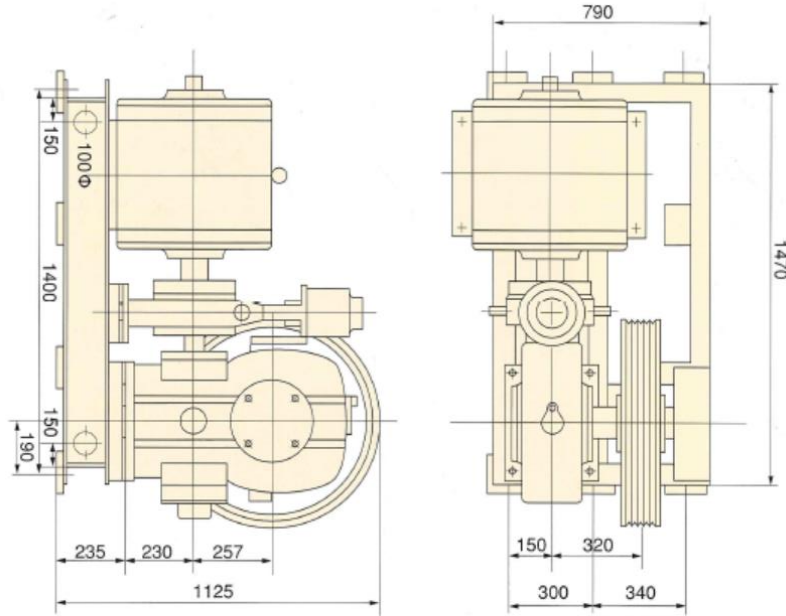
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# 8500型

## 外形図

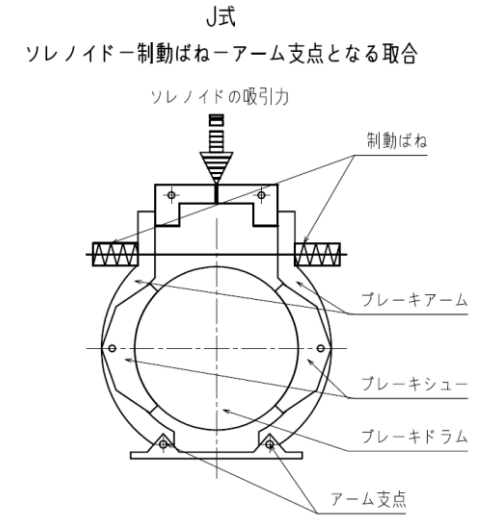
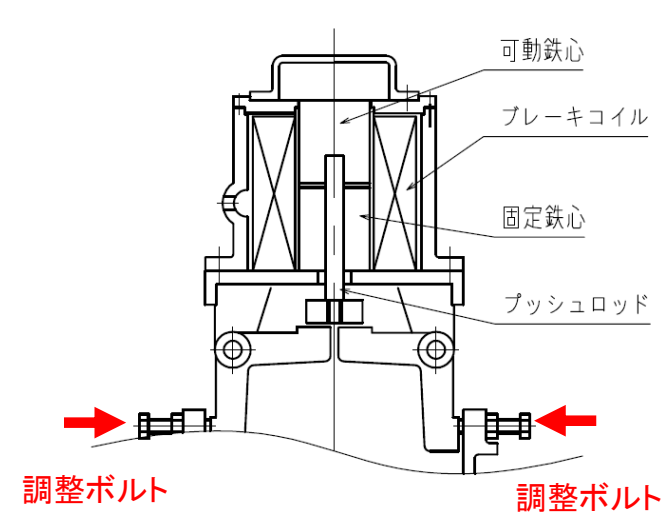


## プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称       | ブレーキ形状                    | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------------|---------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|                 |                           |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| 8500            | リジッドシュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね | J式        | 0.7                                  | 1.2       | 1.5 |
| 8500F/<br>8500A |                           | J式        | 0.7                                  | 1.4       | 1.5 |
| 8500RS          |                           | J式        |                                      |           |     |

## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称       | 特徴                | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状    | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------------|-------------------|-----------------------------|---------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| 8500            | ギアケース刻印<br>「8500」 | 下側                          | -             | 8500               | 95×145×150          | 上側                             |
| 8500F/<br>8500A |                   | 上側                          | フランジ又は<br>足つき |                    |                     | 下側                             |
| 8500RS          |                   | 上側                          | -             |                    |                     |                                |



# 8500型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度ヒューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度ヒューズ(A)



温度ヒューズ(B)



ブレーキシュー  
ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。

ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度ヒューズ(A)

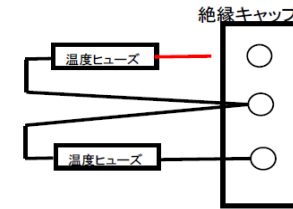


温度ヒューズ(B)



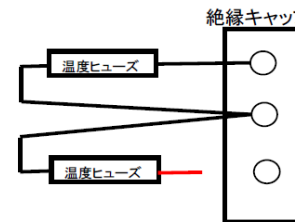
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度ヒューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度ヒューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

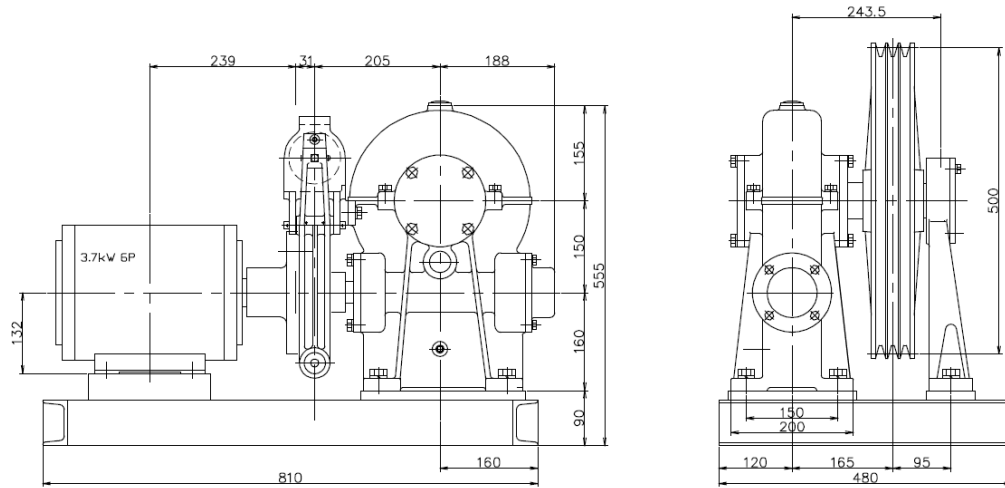
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# S型

## 外形図

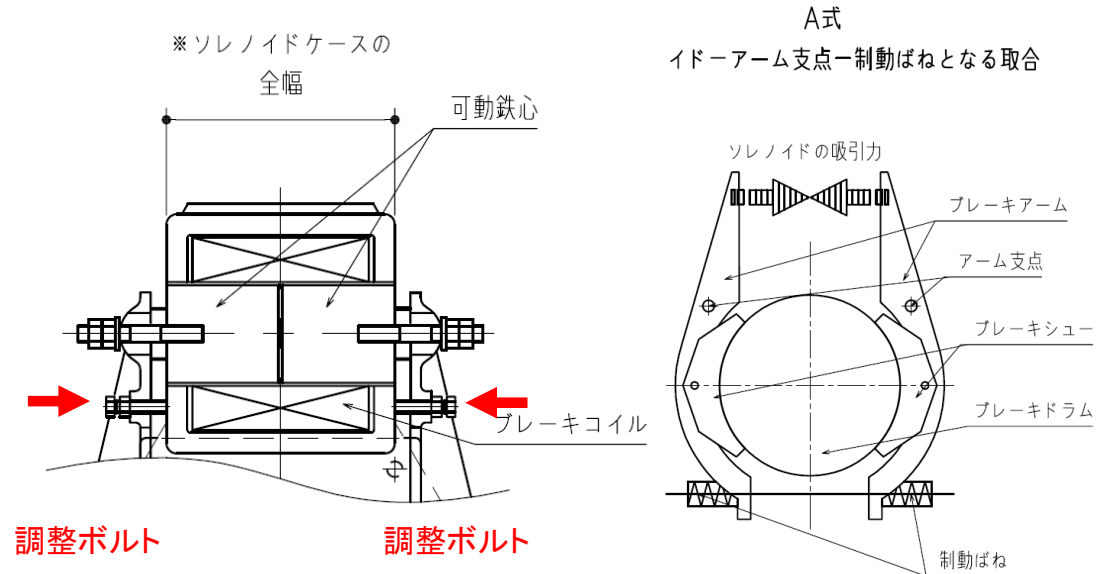


## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称            | 特徴                              | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|----------------------|---------------------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| <b>S型<br/>(2000)</b> | カップリング径φ 200<br>ソレノイドケース全幅122mm | 下側                          | -          | -                  | 42×95×95            | 上側                             |

## プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称            | ブレーキ形状                                   | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |            |            |
|----------------------|------------------------------------------|-----------|--------------------------------------|------------|------------|
|                      |                                          |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検  | 要是正        |
| <b>S型<br/>(2000)</b> | リジッドシュー1コイル<br>2可動鉄心2スプリング<br>アーム全長400mm | A式        | <b>0.4</b>                           | <b>0.6</b> | <b>1.0</b> |
|                      | リジッドシュー1コイル<br>2スプリングアーム全長450mm          | A式        | <b>0.4</b>                           | <b>0.7</b> | <b>1.0</b> |



# S型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度フューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度フューズ(A)



温度フューズ(B)



ブレーキシュー

ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。



ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度フューズ(A)

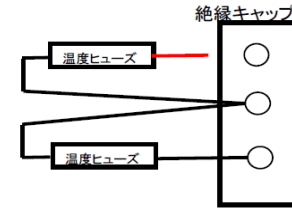


温度フューズ(B)



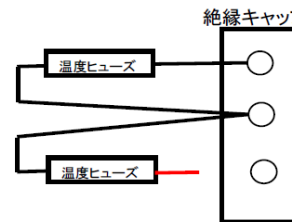
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度フューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

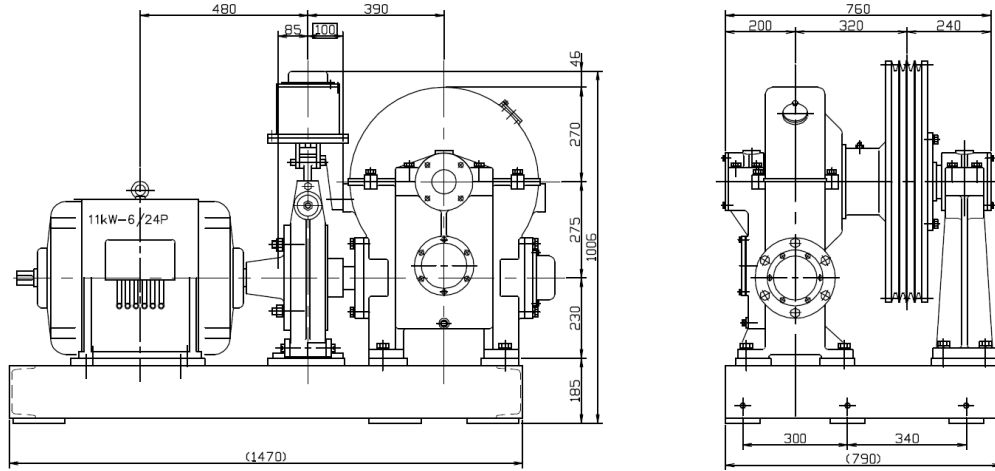
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# F型

## 外形図

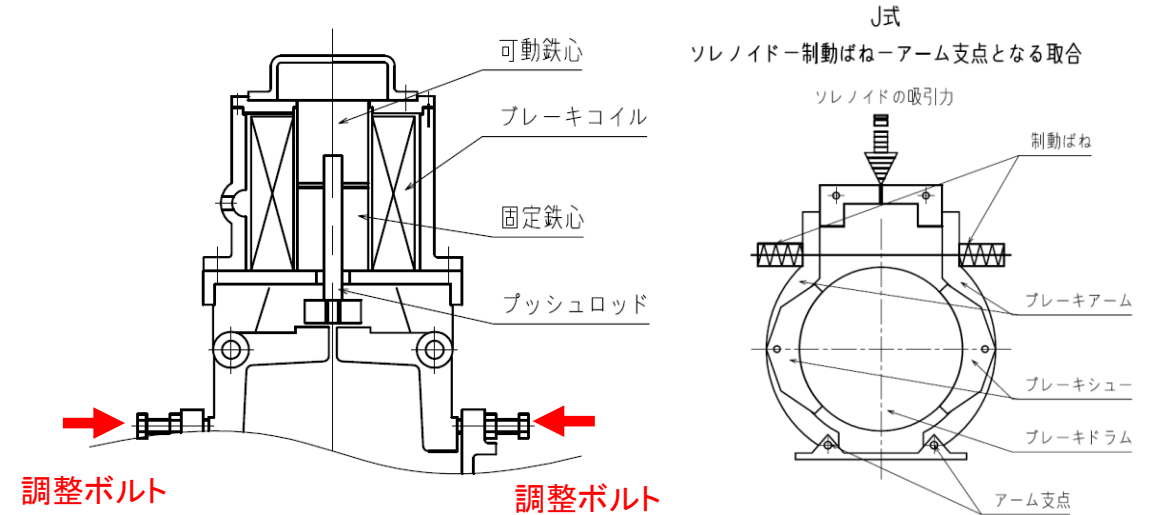


## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称 | 特徴                          | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------|-----------------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| F         | カップリング径φ 300<br>ギヤケース幅550mm | 下側                          | -          | 8500               | 95×145×150          | 上側                             |

## プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称 | ブレーキ形状                    | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------|---------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|           |                           |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| F         | リジッドシュー1コイル<br>1可動鉄心2制動ばね | J式        | 0.6                                  | 0.9       | 1.0 |



# F型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度フューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度フューズ(A)



温度フューズ(B)



ブレーキシュー

ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。



ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度フューズ(A)

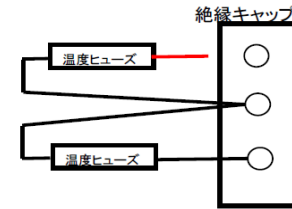


温度フューズ(B)



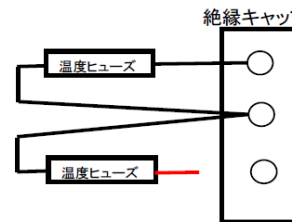
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度フューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

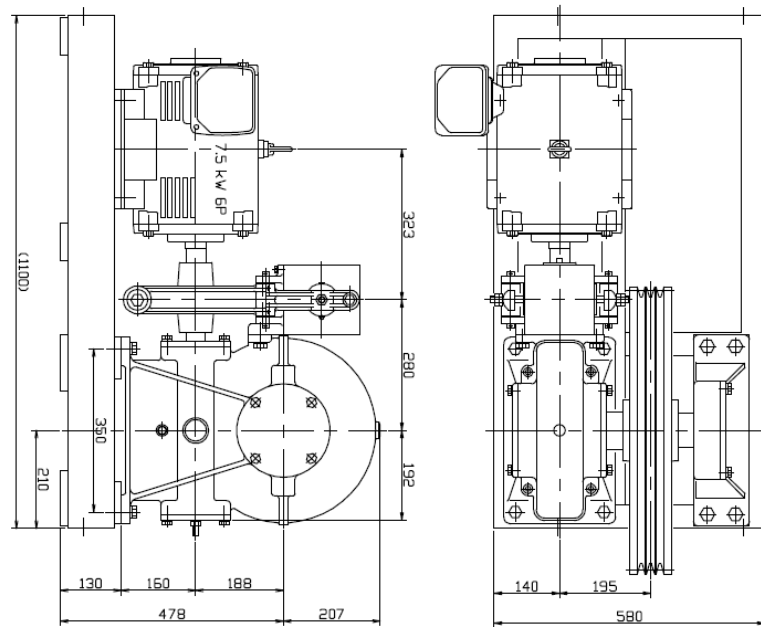
25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

# D型

## 外形図

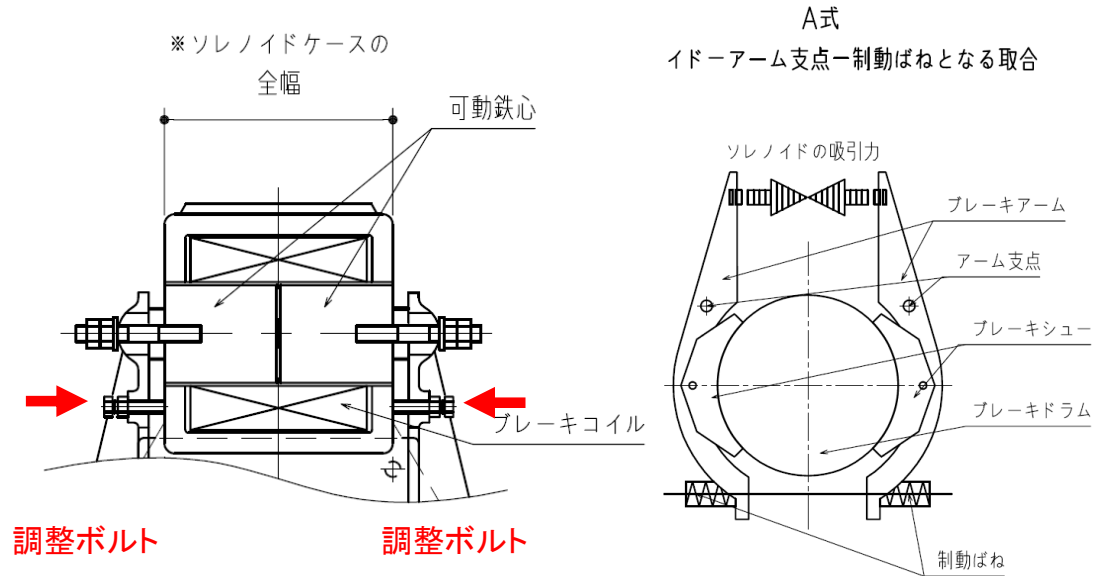


## 補足識別情報

| 巻上機<br>名称 | 特徴                                                  | ウォームホイール<br>対比での<br>ウォーム軸位置 | モーター<br>形状 | ソレノイド<br>コイル<br>形状 | コイル寸法<br>(内径×外径×長さ) | ウォームホイール<br>対比での<br>ソレノイドコイル位置 |
|-----------|-----------------------------------------------------|-----------------------------|------------|--------------------|---------------------|--------------------------------|
| D         | カップリング径φ 220<br>ソレノイドケース全幅150mm<br>制動ばね通しボルト全長約30cm | 下側                          | -          | D                  | 72×130×120          | 上側                             |

## プランジャーストローク測定

| 巻上機<br>名称 | ブレーキ形状                    | アーム<br>取合 | プランジャーストローク【mm】<br>(ブレーキ開放時の可動鉄心移動量) |           |     |
|-----------|---------------------------|-----------|--------------------------------------|-----------|-----|
|           |                           |           | 初期値                                  | 要重点<br>点検 | 要是正 |
| D         | リジッドシュー1コイル<br>2可動鉄心2制動ばね | A式        | 0.4                                  | 0.8       | 1.0 |



# D型

## 温度フューズ点検手順

### <昌和製の場合>

①左右1個づつ取付ける。

\*温度フューズがブレーキシュー幅の中心になるように取付ける。

温度フューズ(A)



温度フューズ(B)



ブレーキシュー  
ブレーキアーム

\*落ちないようにインシュロックで止める。  
インシュロックはダブルにする。

ブレーキシューが無いタイプ(ブレーキアームと一体型)  
\*ライニングの下部の段差部分に取り付ける。  
出来る限りライニングに近づけること。

温度フューズ(A)

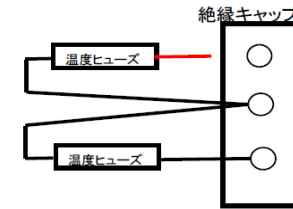


温度フューズ(B)



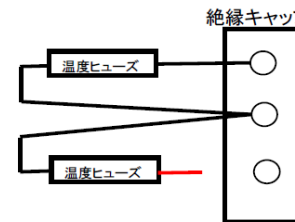
16 制御盤内のメインブレーカーをONにして、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。

17 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を1ヵ所外して下さい。



18 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

19 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。  
手順17と反対側の温度フューズの配線を外して下さい。



20 制御盤内のメインブレーカーをONにしても、SRリレーがOFFであることを確認して下さい。

21 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、温度フューズの配線を戻して下さい。

22 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONしていることを確認して下さい。

23 行先登録、あるいは乗場呼び登録を行い、上昇運転させて下さい(下降運転でも可)。

24 運転中にBRリレーを外して下さい。

25 着床後、SRリレーがOFFし、行先及び呼び登録が効かないことを確認して下さい。

26 制御盤内のメインブレーカーをOFFにし、BRリレーを取り付けて下さい。

27 制御盤内のメインブレーカーをONにし、SRリレーがONし、通常の動作が正常動作することを確認して下さい。